

# 中小企業景況調査報告書【えひめ版】

愛媛県商工会連合会

全国商工会連合会では、四半期毎に景況調査を実施しており、本報告書は県内商工会地域の景気動向を【えひめ版】として作成したものです。

調査対象期間：平成29年度第3四半期（平成29年10月～12月期）

調査対象企業：150企業 回答企業：150企業

（製造業：30社 建設業：20社 小売業：41社 サービス業：59社）

## DI方式

DIとは、各調査項目について〔増加・上昇・好転〕の割合から〔減少・低下・悪化〕の割合を差し引いた値で〔景気動向指数〕を表しています。

## \*記号とDI値の関係

 快晴 ～30.1	 晴 30.0 ～10.1	 薄曇 10.0 ～▲10.0	 曇 ▲10.1 ～▲30.0	 雨 ▲30.1～
---	--	--	--	---

## 1. 業況判断DIと天気図（2年間の推移）

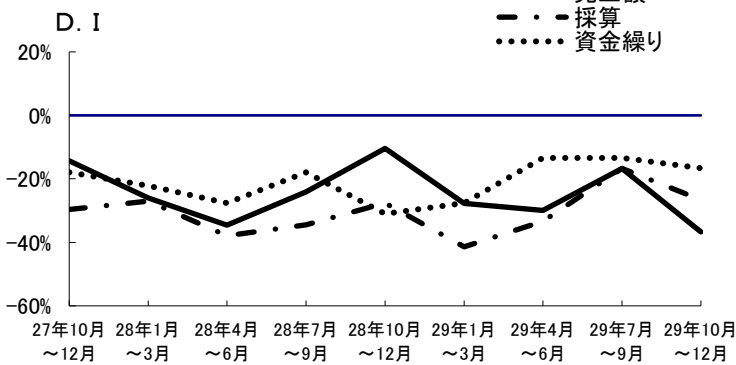
期別	業種別	①製造業		②建設業		③小売業		④サービス業		全体	
	平成27年 10～12月期		▲ 39.3		▲ 15.0		▲ 44.2		▲ 31.0		▲ 32.4
平成28年 1～3月期		▲ 44.5		0.0		▲ 55.9		▲ 33.9		▲ 33.6	
平成28年 4～6月期		▲ 24.1		▲ 10.0		▲ 61.0		▲ 13.3		▲ 27.1	
平成28年 7～9月期		▲ 24.2		0.0		▲ 50.0		▲ 27.1		▲ 25.3	
平成28年 10～12月期		▲ 34.5		▲ 25.0		▲ 65.9		▲ 25.0		▲ 37.6	
平成29年 1～3月期		▲ 31.1		▲ 10.0		▲ 61.1		▲ 26.7		▲ 32.2	
平成29年 4～6月期		▲ 26.7		▲ 36.8		▲ 53.7		▲ 31.1		▲ 37.1	
平成29年 7～9月期		▲ 20.0		▲ 10.0		▲ 36.6		▲ 35.6		▲ 25.6	
平成29年 10～12月期		▲ 20.0		▲ 5.0		▲ 48.9		▲ 32.7		▲ 26.7	
来期見通し 1～3月期		▲ 20.7		▲ 10.6		▲ 48.9		▲ 30.5		▲ 27.7	

（注1）業況判断DIポイント値は、前年同期と比較して業況が「好転」と答えた企業の割合から「悪化」と答えた企業の割合を引いたもの

（注2）「全体」のポイント値は全業種の単純平均値

## 2.業種別景気動向

### ① 製造業



#### <前期比>

売上額 : 悪化 (▲16.7→▲36.7 ポイント)

採算 : やや悪化 (▲16.7→▲26.6 ポイント)

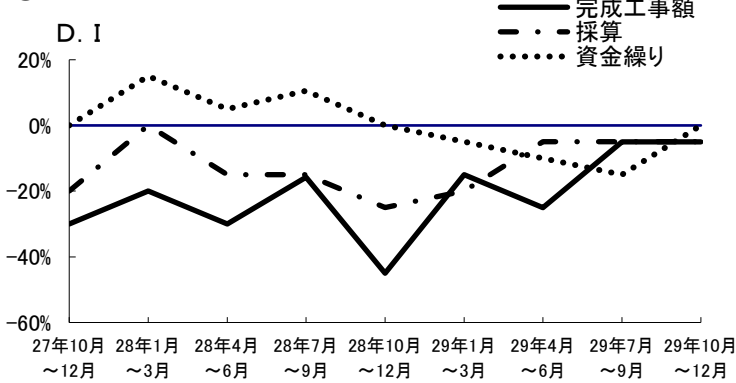
資金繰り : やや悪化 (▲13.4→▲16.6 ポイント)

#### <経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 需要の停滞 (27.6%)

2位 : 生産設備の不足・老朽化 (20.7%)

### ② 建設業



#### <前期比>

完成工事額 : 横ばい (▲5.0→▲5.0 ポイント)

採算 : 横ばい (▲5.0→▲5.0 ポイント)

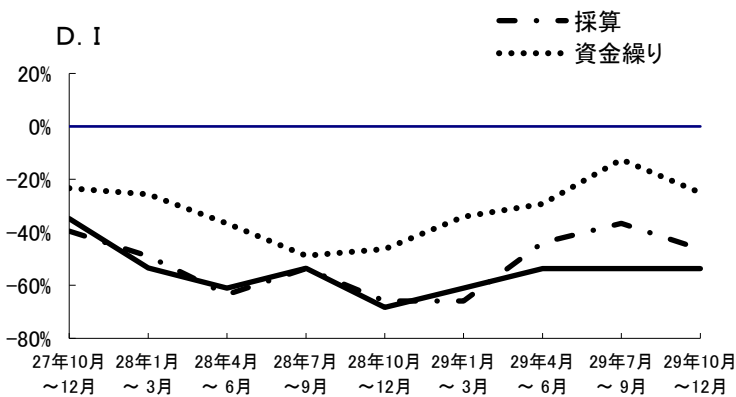
資金繰り : 好転 (▲15.0→0.0 ポイント)

#### <経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 官公需要の停滞 (33.3%)

2位 : 大企業の進出による競争の激化、従業員の確保難 (13.3%)

### ③ 小売業



#### <前期比>

売上額 : 横ばい (▲53.7→▲53.7 ポイント)

採算 : やや悪化 (▲36.6→▲46.3 ポイント)

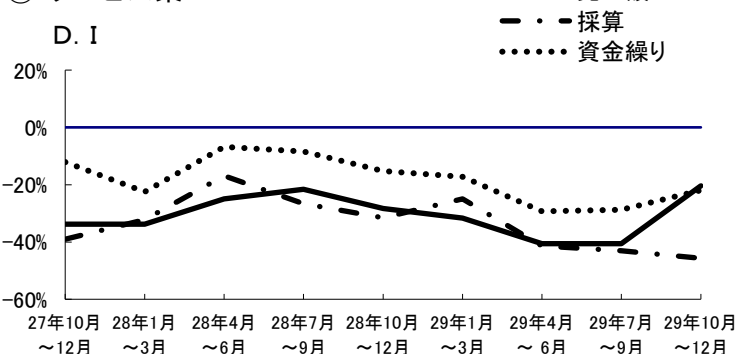
資金繰り : 悪化 (▲12.5→▲25.0 ポイント)

#### <経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 購買力の他地域への流出 (31.6%)

2位 : 大型店・中型店の進出による競争の激化 (28.9%)

### ④ サービス業



#### <前期比>

売上額 : 好転 (▲40.6→▲20.4 ポイント)

採算 : やや悪化 (▲43.1→▲45.7 ポイント)

資金繰り : やや好転 (▲28.8→▲22.0 ポイント)

#### <経営上の問題点> (順位と比率)

1位 : 需要の停滞 (23.1%)

2位 : 利用者のニーズの変化 (19.2%)

